

学ぶ 育む ～

受験生保護者 3 人に 1 人 スマホ利用にルール

受験を控えた中学 3 年生や高校 3 年生の子どもをもつ保護者 3 人に 1 人はスマートフォンの利用にルールを設けていることが、学習塾「明光義塾」を運営する明光ネットワークジャパンの調査で分かった。ルールの内容では、使用時間の制限が最も多く、受験勉強の時間確保が狙いとみられる。

調査は 11 月～12 月、中 3 と高 3 の子どもをもつ全国の保護者を対象にインターネットで行い、600 人が回答した。

調査結果では、スマホの利用について、受験勉強の妨げにならないように「ルールを設定している」は 13.1%。「どちらかという」と含めると、「設定している」は 36.1%に上った。中高生別にみると、中 3 が 45.0%で、高 3 の 26.6%を上回った。

ルールの内容（複数回答）では、「スマホの使用時間を制限している」が 80.0%で最多。次いで、「利用アプリを制限している」（26.7%）、「SNS の利用を制限している」（17.6%）となった。

調査で受験生のサポートで大変だと感じることを尋ねたところ、「体調管理」が 33.0%で最も多く、「モチベーション管理」（29.0%）などが続いた。

同社が今年 3 月に小 4～中 3 の保護者に行った調査では、スマホのルールの内容は「利用アプリの制限」が最多だった。同社の担当者は「受験生になると勉強時間が必要になるということではないか」とみている。